

2022 吉野ヶ里ウインターバルーンフェスタ

第 32 回吉野ヶ里杯・第 28 回卑弥呼杯熱気球大会

ゼネラルブリーフィングノート

Ver. 1 2022 年 11 月 17 日

1. 大会について

- (1) 競技規定は第 32 回吉野ヶ里杯・第 28 回卑弥呼杯熱気球大会競技規定を使用する。
- (2) 陪審員制度は採用しない。競技委員長の判断を最終決定とする。
- (3) 本大会の競技は 1 フライト、1 タスク以上で成立する。
- (4) パイバルデータは磁方位で発表する。
- (5) スケジュールは大会概要書の通り実施し、競技結果はブリーフィング会場に掲示する。
- (6) 公式日の出/日没時刻は 07:20/17:15 とする。
公式時刻は GPS もしくは N T T 時刻とする
- (7) 競技役員もその役務に支障が無い範囲で競技に参加することができる。

2. 競技地図・競技区域

競技地図はチームに 2 部。オブザーバー用に 1 部配布する。

競技区域は配布した競技地図全体のうち、飛行報告書（ノータム）によって指定された空域で、競技外区域を除いた部分とする。

3. 競技外区域

全てのレッド PZ 及び競技本部が指定した区域。

これらの区域では、競技の結果は得られないものとする。

4. 飛行に際しての注意事項

- (1) 飛行に際しては別紙「佐賀エリアでのフライトにおける申し合わせ事項」を参照のこと。なお、飛行は、午前は 7:20~10:00 までに終了するか、目達原基地管制圏外に離脱すること。
- (2) 市販の GPS とパイロット協会にアドレスを登録している携帯電話を搭載すること。
- (3) 目達原管制圏内から佐賀通常エリアに進入した場合は、「バルーン離着陸管理システム」に従い佐賀空港管理事務所に通報すること。
- (4) 飛行が終了した際、パイロット協会携帯 (090-5289-8160) へショートメッセージを送信する。
管制圏内を離脱し佐賀エリアに進入した場合は、その時点で連絡すること。
(全機のフライト終了時点で、目達原駐屯地へ連絡します)
また、一旦管制圏内から離脱後の再進入は認めません。
- (5) 中間着陸および P1 を含み乗員の交代を行っても良い。ただし、P1 はエントリーパイロットに限る。また、卑弥呼杯対象チームが男性エントリーパイロットへ交代した時点で卑弥呼杯の対象外となる。

(3) タスクトップ賞 各タスクのトップ

※ 吉野ヶ里杯の採点は全参加者の集計をもって行う。

※ 卑弥呼杯は、卑弥呼杯該当者における採点を行い、最上位者を優勝者とする。但し、卑弥呼杯該当チームが3チーム未満であった場合は、卑弥呼杯カテゴリは不成立とする。

※ 表彰式は、ブリーフィング会場にて12月25日(日)12:00より行う。

なお、2日目の競技が実施できなかった場合は、時間変更することもあります。

13. その他

(1) ロストもしくはトラブルの場合、速やかに連絡すること。また、必要に応じて報告書の提出を求めることがある。

(2) ブリーフィング会場ならびに館内では、一般の来場者の迷惑にならないようマナーに心がけて下さい。また、持ち込んだゴミについては、すべて持ち帰ってください。

(3) バルーン競技関係者臨時駐車場(舗装していない場所)は車両パスの掲示がないと一切駐車を認めませんので、必ずパスをダッシュボードへ掲示してください。

バルーン競技関係者臨時駐車場(舗装していない場所)は係員の配置は行いません。

日の出前、日の入り後の車輛移動、駐車には十分注意して下さい。

(4) 大会中のLPG充填は佐賀市の山代ガスで土曜日のみ08:30~13:00にて充填可能です。

(土曜のみ可能・時間厳守)

※精算は各チームで行ってください。

(5) ブリーフィング会場は24日(土)6時00分、25日(日)6時00分に開場する。

(6) 大会本部電話番号

大会専用携帯電話(パイロット協会) 090-5289-8160

競技委員長(パイロット協会競技委員) 辻 将隆 080-4315-9191

事故対応窓口(パイロット協会安全委員) 福田 康弘 090-3323-3819

佐賀熱気球パイロット協会